

いじめ・不登校を生まない学校づくり

1 昨年度の取組

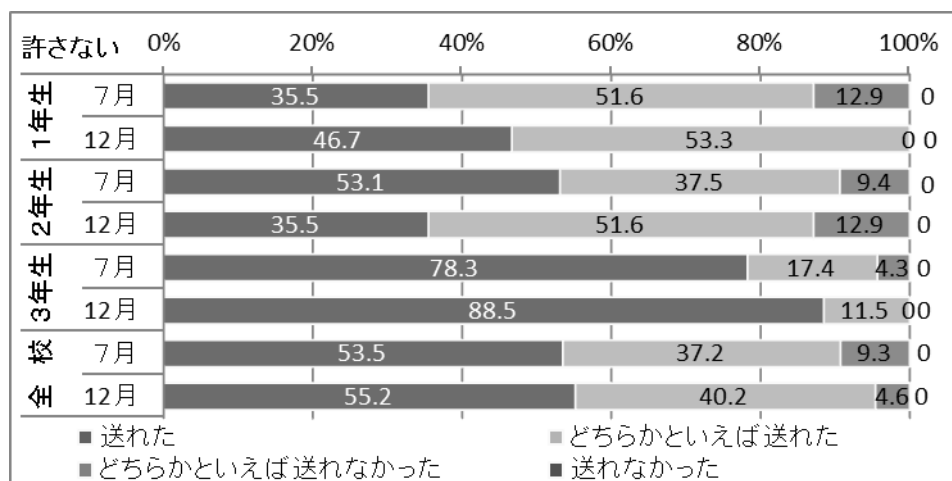
(1) 目標

新たな不登校生徒・不登校傾向生徒を生まない。

(2) 成果と課題

① 成果

生徒アンケート「いじめは絶対に許さないという気持ちで学校生活を送れましたか。」



② 課題

ア 毎月実施している教育相談アンケートの結果に基づき、個々の生徒の状況を把握し、より早く対応できるよう工夫が必要である。

イ 日々の生活の中で、一人一人が適切な目標を設定できるように継続的に支援していく必要がある。

2 今年度の取組

(1) 目標

新たな不登校生徒・不登校傾向生徒を生まない。(昨年度と同じ)

(2) 手立て

- ① 困っている生徒の状況把握と情報収集、相談活動をできるだけ早く行い、全職員が状況の把握をして少しでも早く対応する。
- ② 日々の学校生活の中で、相応しい目標をもつことができるよう、継続的に支援していく。
- ③ 教育相談アンケートの結果をいち早く集計し、全職員で個々の生徒の状況を共有する。
→ 教育相談(学期ごとの定期、随時)の充実
- ④ 各行事の事前指導を充実させ、生徒が目標をしっかりとめるように促す。事後指導を含め、継続して支援する。
- ⑤ 委員会活動(学年委員会)で、いじめ防止の劇やアンケートを通していじめ防止を呼び掛ける。
- ⑥ 管理職、生徒指導主事を中心に校内外の関係機関と連携していく。
- ⑦ 校内外の関係機関と連携し、対応する。